



Release Identification: LT3650-8.2

2009.02.12

## リニアテクノロジー、新製品「LT3650-8.2」を販売開始

小型 3mm x 3mm パッケージで最大 2A を供給する 32V モノリシック 2 セル・リチウムイオン/ポリマー・バッテリ・チャージャ

2009年2月12日 - 高性能アナログICのリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、2 セル・リチウムイオン/ポリマー・バッテリ向け小型モノリシック高電圧バッテリ・チャージャ「LT3650-8.2」の販売を開始しました。LT3650-8.2 は高さの低い(0.75mm)小型の12ピン3mm x 3mm DFN パッケージで供給され、E グレード・バージョンとI グレードバージョンとI グレードバージョンがあります。どちらのバージョンも-40°C~85°C の温度範囲で動作し、1,000 個時の参考単価は E グレード・バージョンが 280円(税込み)から、I グレード・バージョンが 321円(同)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細は www.linear-tech.co.jp をご覧ください。

スイッチモード・アーキテクチャを採用したLT3650-8.2 は、ボードスペースを妥協せずに消費電力を最小限に抑えます。最大 32V の入力を使用可能で、絶対最大定格が 40V なのでシステムマージンを追加できます。また、タイマか C/10 による充電終了をユーザが選択可能なので、外付けマイクロコントローラが不要となり、設計が簡素化されます。充電電流はプログラム可能で、最大 2A まで動的に調整できます。パワー・デバイスを内蔵しているので、ボードスペースを節約できます。また、フロート電圧を設定するための外付け高精度抵抗が不要なので、コストとスペースがさらに削減されます。LT3650-8.2 は、産業用ハンドヘルド計測器、12V ~ 24V の車載機器および重機、デスクトップ据置型チャージャ、小型のノートブックまたはタブレット・コンピュータといったアプリケーションに最適です。

LT3650-8.2 は 1MHz の高い動作周波数と電流モード・アーキテクチャにより、小型のインダクタやコンデンサを使用可能なので、ノイズやフィルタリングの要件を最小限に抑えます。最終フロート電圧精度は±0.5%に規定され、充電電流精度は±5%、C/10 検出精度は±2.5%です。充電が終了すると、LT3650-8.2 は自動的に低電流のスタンバイ・モードになり、入力電源電流が 85 μ A に減少します。シャットダウン時には、入力バイアス電流は 15 μ A に減少します。LT3650-8.2 は充電以外の期間はすべてバッテリ寿命を最大限に延ばし、バッテリからの流出電流を 1 μ A 以下に抑えます。安全性を確保し、自動充電制御を行なうために、LT3650-8.2 は自動リスタート、自動前調整、温度規程充電用のサーミスタ入力、プログラム可能な入力電流制限、不良バッテリ検出、バイナリコードの状態出力ピンなどの特長を備えています。

## LT3650-8.2 の主な特長:

- 広い入力電圧範囲: 9V~32V (絶対最大定格 40V)
- プログラム可能な充電電流:最大 2A

リニアテクノロジー株式会社 www.linear-tech.co.jp

- 2 セル・リチウムイオン/ポリマー・バッテリの充電が可能、8.2V の充電電圧
- 充電終了をユーザが選択可能: C/10 またはプログラム可能な終了タイマ
- 動的な充電レート設定/ソフトスタート・ピン
- プログラム可能な入力電流制限
- 1MHz のスイッチング周波数により、小型の外付け部品を使用可能
- 充電電圧精度: ± 0.5%
- 充電電流精度: ±5%
- C/10 検出精度: ± 2.5%
- NTC 抵抗温度モニタ
- 自動再充電
- 自動前調整
- バイナリコード、オープンコレクタの充電状態出力ピン
- 自動リセット付きの不良バッテリ検出
- 高さの低い(0.75mm) 小型の 3mm x 3mm DFN-12 パッケージ

フォトキャプション:32V、2A モノリシック 2 セル・リチウム・チャージャ

Copyright: 2009 Linear Technology

以上